

シリーズ(その3)

エコキャンパス行動宣言

思いやりとコミュニケーション

「私たちは、自然との共存、人との対話を通して
思いやりの心を育み行動します」

エコロジカルキャンパス推進委員会
伊波美智子（法文学部）

生協で販売している「琉球大学環境憲章（University of the Ryukyus Ecological Campus Community Charter）」のフォルダーが好評である。1枚200円と、フォルダーとしては高いがお土産品としては手頃だし、かさ張らない。とくに海外へのお土産として英文のものが売れているとのこと。



大学グッズの一大ブレイク商品といえば、なんとといっても「東大泡盛 赤門印」の「御酒（うさぎ）」。720mlで4,200円と高価だが、昨年11月13日に初入荷した100本は初日に完売、1カ月半で売り上げは1000本を超え予約待ちの状況だという。この泡盛を展示販売しているのが、その名も東京大学「コミュニケーションセンター」。地域と大学との敷居を低くして東京大学の魅力を学生たちと一緒にしよう企画されたとのこと。東大マーク入りの文房具・食器等は修学旅行生や主婦にも好評だという。玉川大学は農学部で飼育している牛から搾乳しアイスクリームを製造販売している。早稲田大学のまんじゅう、慶應大学のクッキーも人気がある。商品を販売するのは大学の本務ではないが、これらは商品を介した大学と地域とのコミュニケーション活動の好事例だといえよう。

コミュニケーションの目的は信頼関係を築くこと

communicationのcom-はtogether、withという意味の接頭語

で、commune、community、communicate、communication等に用いられてい

る。Col-、con-、cor-、co-も同意で、これらは意思疎通の必要な集団の存在を前提としている。いうまでもなく大学の使命、社会的存在意義は人材の輩出にあり、卒業生の質によって評価は決まる。エコロジカル・キャンパス活動の根源には琉球大学の恵まれた立地環境を生かし、沖縄のチムグクル（注1）をもった志の高い人材に育ててもらいたいという想いがある。

コミュニケーション活動は、メッセージ、その送り手、受け手という3要素から成っている。エコロジカル・キャンパス活動のメッセージを具体的な言葉にしたのが「環境憲章」で、大学の最高責任者である学長から、学生、教職員等の学内関係者、そして地域社会へと発信されている。このメッセージを具体的な行動へと移すための指針が「エコキャンパス行動宣言」である。環境宣言が実践され長年の時を経てキャンパス文化となっていく時、新たな琉大ブランドが確立される。ちなみに、ブランドとは商標（注2）と訳されるが、近年は単なる商標を越えるもの、消費者の期待に答えてくれる品質保証の意味に使われている。ブランドとは企業と消費者との長年の信頼関係を基に築かれるものなのである。

「知行合一」（注3）

メッセージを一方的に発信するだけでコミュニケーションが成立するわけではない。発信されたメッセージが受け手に届き、受け手が内容を理解してメッセージを返す、というキャッチボールを続けていかなければならない。良好なコミュニケーションを継続することは組織の永遠の課題でもある。

「知行合一」（知るは行うことのはじめ、行うことは知ることの成果。知と行は本来一つのものであり、二つに分けるものではない）の精神に則り、エコロジカル・キャンパス活動を根づかせていくことは琉球大学のブランドを構築することでもある。

人間は、「地球」という生態系の一部として存在している。エコロジーの語源であるギリシャ語のオイコス (oikos) が、「家」を意味するように、地球は、多種多様な生命体の相互存在的な繋がりによって営まれるひとつの共同体である。亜熱帯の琉球弧に位置する沖縄は、ニライカナイ信仰など独特の自然観や世界観によってその豊かな文化を育んできた。地球のエコロジーという観点に立脚して琉球大学は、教育、研究、そして社会貢献の在りようを未来へと発展させていくことを宣言する。

琉球大学環境憲章

University of the Ryukyus Ecological Campus Community Charter

人間は、「地球」という生態系の一部として存在している。エコロジーの語源であるギリシャ語のオイコス (oikos) が、「家」を意味するように、地球は、多種多様な生命体の相互存在的な繋がりによって 営まれるひとつの共同体である。亜熱帯の琉球弧に位置する沖縄は、ニライカナイ信仰など独特の自然観や世界観によってその豊かな文化を育んできた。地球のエコロジーという観点に立脚して琉球大学は、教育、研究、そして社会貢献の在りようを未来へと発展させていくことを宣言する。

Human beings are part of the earth's ecosystem.? The word "ecology" originates from "home (oikos)" in Greek, and the earth is the home of diverse life forms living in interdependent harmony.? Located in the subtropical Ryukyu Islands, Okinawa is rich in cultural heritage and has developed a unique worldview—such as niraikanai—which represents the community's special connection to nature.? As an integral part of the Okinawan community, we, members of the University of the Ryukyus, hereby declare that we will continue our tradition of education, scholarship, and social contribution, but we will also strive to reshape our traditions to meet the needs of the new age of global ecology.



自然との共存

自然を愛し、自然と共に生きる地球市民としての自覚と誇りをもって行動する。

キャンパスは地域や地球のエコロジーと連続したひとつの「場所」である。その場所に存在する一個の生命体として、キャンパスとその周辺のエコロジーを理解し、そこに息づくさまざまな生命と共に「生命の網」の調和を保つことによって、環境意識の高い地球市民としての心豊かなキャンパスライフを実践する。

Harmony with Nature

We will demonstrate our love for nature and think and act as global citizens.

The campus is a place that is integral to communal and global ecology.? Living on "campus", we need to understand its ecology and how it relates to the neighboring ecosystems.? We need to learn how to live in balance with other living beings within its "Web of Life", and, at the same time enrich our lives while being committed to our responsibilities as global citizens of this planet.

ひと・対話

生命と文化の多様性を誇え、他者との対話を知の源泉とする多文化共存の環境をつくる。

どのような生命体も歴史の中で蓄積された価値ある固有の文化と風土に属している。自分以外の他者、また、自分とは異なる生物種や文化に属する他者と積極的に対話し、その多様な知恵と経験から学ぶべきことによって、自分自身のアイデンティティーを模索し、人間としていかに生

きるべきかという問いを地球レベルで発想できる環境をつくる。

People and Dialogue

We will celebrate diversity of life and culture and develop our wisdom and intelligence in dialogic interaction with others in a multicultural environment.

Every life form has its own cultural, historical, and geographical background.? In a campus environment where we are able to have active interactions with other kinds of human and non-human beings, we will learn who we are and how we live as human beings in the context of the global ecosystem.

教育・学習

地球社会の未来を担う自主性と想像力、創造力にあふれる人材が育つ教育・学習環境をつくる。

大学を新しい文化の発信地にする。自主性と独創性を尊重する教育を通して、地球市民としての自覚と発想を育み、将来、地球コミュニティに属する人間として向き合うさまざまな問題に、地域コミュニティの視点から積極的に取り組む意欲と能力を養成する場にする。

Education

We will create a learning environment, which will help students develop their autonomy, imagination, and creativity.

Our university will become the center of this new culture.? Through education which respects autonomy and originality, we will create a place for students to learn new attitudes and ways of thinking as global citizens.? In doing so, the students will increase their capability and motivation to solve global problems through local action.

研究

地球市民としての知を追究する真のアカデミズムにあふれる研究環境をつくる。

地球の生命共同体の存続は、これからのアカデミズムの在りようと深く関わっている。真のアカデミズムとは、生物圏の一員としての人間の責務を果たすべく学究活動であることを認識し、それぞれの学問分野の長い歴史の中で築かれた叡知を基礎に、さらに学際的で自由な地球市民としての発想で、琉球大学を未来へと飛翔する知の発信地にする。

Research

We will make the campus a true academic environment in which we explore knowledge as global citizens.

Survival of the global community is inseparable from the future vision of academia.? We must seek true academic vision which will enable use to fulfill our responsibilities as members of the community of living beings.? On the basis of our academic heritage at this university, we will further pursue the global perspective and interdisciplinary and liberal thinking and make the university become the intellectual center of the future global community.

大学の社会的責務

循環と共生を基調とした持続可能な社会を実現する地域のコミュニティ・モデルとなる。

自然環境に対する高い意識と闊達なコミュニケーションを大学というコミュニティの中で実践する。大学内、地域、地球の人々をつなぐ優れたコミュニケーション・システムを実現することにより、様々なコミュニティとのインターアクティブな関係を構築し、研究や教育の成果を積極的に還元する。常に社会を啓発し、社会や文化の活性化に貢献するという本来の大学の責務を果たす。

Responsibility

We will prove ourselves to be the ecological model for the local community through a recycling system to create a sustainable campus environment.

We will be fully aware of our campus environment both in terms of its ecological and interpersonal significance.? By creating a communication system that connects not only people on and off campus, but also people all over the world, we will establish interactive relationships with other communities and contribute to them through our academic achievements.

<エコキャンパス行動宣言>

1. 私たちは、キャンパス内での諸活動を通して美しいキャンパス景観を創造します。

2. 私たちは、キャンパス内での諸活動において省エネ・省資源を推進します。
3. 私たちは、自然との共存、人との対話を通して思いやりの心を育み行動します。

琉球大学のホームページ
<http://www.u-ryukyu.ac.jp>
にエコキャンパスのサイトがあります。

- (注1) チムグクル : チムとは肝、ククルは心のこと。「チムグクルがある」とは「人情味豊かな、思いやりのある」の意。チムグルサン、チムヤミという表現は、他人の心情をおもいやり、心苦しい、胸痛む状況を指す。
- (注2) 商標 : 自己の生産・製造・加工・選択・証明・取扱または販売の営業に係る商品であることを明示するために、商品に付する文字・図形・記号などの標識。
(『広辞苑』より)
- (注3) 知行合一 : 明の王陽明の学説。知は行のもとであり、行は知の発現であるとし、知と行とを同時一源のものにとらえた。(同上)



[学報トップ](#)